

神戸スウィーツコンソーシアム in 東京修了式 チャレンジド7人が修了 高円宮妃久子殿下を迎えて



神戸スウィーツ・コンソーシアム(以下KSC) in 東京の修了式が11月30日、ウエスティンホテル東京で行われた。修了式には高円宮妃久子殿下が出席され、ごあいさつのあと、受講生7人の作品を試食された。また鳩山由紀夫内閣総理大臣がビデオメッセージを寄せた。

KSCは社会福祉法人ブロップ・ステーション(竹中ナミ理事長)を中心に昨年発足したプロジェクトで、パティシエを目指すチャレンジド(障害のある人)を支援するもの。受講生とそのサポーター、協力企業など約140人が出席した。



佐々木明久社長

今年6月から共ら5回にわたるとり、八木淳司(モロゾフ、中央)、永井紀之(リエット)、西川功晃(フランジェリーコム・シノミヤ)、野澤孝彦(コンディトライノイ)の4人

の講師陣が日清製粉小網町ビル加工技術センターで講習。会場にはその成果を発する形で、チャレンジド(受講生)7人の作品が並んだ。

日清製粉第一営業部・田子敏也課長の司会で、竹中理事長が「今回のプログラムを通じて、パン・菓子作りは、奥が深いことを痛感した。今後ともチャレンジドたちの頑張りと、KSCの活動を支援ください」と述べた。

このあと来賓のアメリカ大使館アメリカンセンター・アン・カンバラ館長、厚生省・水田邦雄事務次官、農水省・井出道雄事務次官、東京都障害者施策推進部・芦田真吾部長、神戸市・矢田立郎市長、兵庫県・井戸敏三知事(森哲男東京事務所長代読)がそれぞれに支援を表明した。

7人の受講生に八木講師から修了証を授与され、最も優秀賞には菊池由香さん(パン工房ひよこ)が選ばれた。なおKSCでは来年も引き続き東京での開催を予定。

・コンソーシアム in 東京 チャレンジド 修了式・成果発表会



最優秀賞の菊池さん、(右)は八木講師



菊池さんの作品

八木講師 今回のプロジェクトを通じて自身も勉強になっている。来年からはこのプロジェクトの趣旨に賛同する数人のパティシエが加わる予定だ。

永井講師 受講生のレベルは思ったよりも高かった。ものづくりは人であり、技術だけでなく人としての徳を積むことが大事。

西川講師 今回参加して、私自身が講師としてきちんと人に伝えることの大切さを学んだ。皆さんも自分が勉強しながら、身に付けたことを人に伝えていくように。

野澤講師 FMラジオに出る機会があってKSCのことを話したが、これからその活動内容を広く知らせていきたい。